

平成 27 年度

事 業 報 告

平成 28 年

1. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

・平成 27 年 6 月 5 日（金）午前 10 時より第 93 回理事会を東京急行電鉄（株）本社役員会議室にて開催、下記の議案を審議可決した。

（イ）平成 26 年度事業報告並びに収支決算等について

（ロ）平成 27 年度定時評議員会の招集について

・平成 27 年 6 月 18 日（木）午前 10 時より第 89 回評議員会を東京急行電鉄（株）本社役員会議室にて開催、下記の議案を審議可決した。

（イ）平成 26 年度事業報告並びに収支決算等について

（ロ）評議員の辞任及び補充の選任について

・平成 28 年 3 月 17 日（木）午前 11 時より第 94 回理事会を東京急行電鉄（株）本社役員会議室にて開催、下記の議案を審議可決した。

（イ）平成 28 年度事業計画並びに収支予算等について

（ロ）平成 28 年度事業計画並びに収支予算等の評議員会開催及び招集について

（ハ）館長の退任および選任について

・平成 28 年度事業計画並びに収支予算案等について、平成 28 年 3 月 17 日に配布し、評議員全員の同意を得たので、最終確認が得られた同年 3 月 21 日付にて、第 90 回評議員会として同案を可決した。

2. 官公庁への届出等

- ・平成 27 年 6 月 26 日 平成 26 年度事業報告書並びに収支計算書等の提出 ……内閣府
- ・平成 28 年 3 月 23 日 平成 28 年度事業計画書並びに収支予算書等の提出 ……内閣府

3. 寄付受領

- ・東京急行電鉄株式会社..... 80,000,000 円
合計 80,000,000 円

美術品等受贈

平成 27 年 4 月 1 日受贈

- ・本間久子.....本間紀男著『木彫仏の実像と変遷』大河書房
本間紀男著『X 線による木心乾漆像の研究』美術出版社
仏教造形研究所編『益子西明寺に伝わる木彫群』（解牀修理と復元の記録）
計 3 件（寄贈 平成 27 年 12 月 3 日）

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

1 - 1. 入館者数

* 単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1	〔館蔵〕春の優品展—和歌と絵画—〈平成 27 年 4 月 4 日〔土〕—5 月 10 日〔日〕〉						
	7,737	411	8,148	288	8,436	32	264
2	〔館蔵〕近代の日本画展〈5 月 16 日〔土〕—6 月 21 日〔日〕〉						
	7,881	446	8,327	176	8,503	32	266
3	〔特別展〕瓷華明彩—イセコレクションの名陶—〈6 月 27 日〔土〕—8 月 9 日〔日〕〉						
	6,697	1,902	8,599	128	8,727	38	230
4	〔館蔵〕秋の優品展—宗教と美術—〈9 月 5 日〔土〕—10 月 18 日〔日〕〉						
	6,648	287	6,935	299	7,234	38	190
5	〔開館 55 周年記念特別展〕一休—とんち小僧の正体—〈10 月 24 日〔土〕—12 月 6 日〔日〕〉						
	15,282	5,838	21,120	408	21,528	38	567
6	〔館蔵〕茶道具取合せ展〈12 月 12 日〔土〕—平成 28 年 2 月 14 日〔日〕〉						
	7,667	620	8,287	256	8,543	46	186
7	〔館蔵〕中国の陶芸展〈平成 28 年 2 月 20 日〔土〕—3 月 27 日〔日〕〉						
	5,141	332	5,473	169	5,642	32	176
合計	57,053	9,836	66,889	1,724	68,613	256	268

* 単位は人

1 - 2. 特別展

(1) 瓷華明彩—イセコレクションの名陶—

- ・期間＝平成 27 年 6 月 27 日〔土〕—8 月 9 日〔日〕
- ・主催＝五島美術館
- ・後援＝イセ文化財団／外務省
- ・特別鑑賞会・レセプション＝平成 27 年 6 月 26 日〔金〕……………出席者 209 名
- ・講演会＝平成 27 年 7 月 12 日〔日〕 森達也氏（沖縄県立芸術大学教授）聴講者 101 名
- ・講演会＝平成 27 年 7 月 26 日〔日〕 瀬尾康夫氏（美術瀬尾）×川島公之氏（繭山龍泉堂）
……………聴講者 122 名

※詳細は「3 - 1. 普及事業 (3)」(7 頁) 参照

(2) 一休—とんち小僧の正体—

- ・期間＝平成 27 年 10 月 24 日〔土〕—12 月 6 日〔日〕
- ・主催＝五島美術館／日本経済新聞社
- ・協力＝酬恩庵（一休寺）／大徳寺・真珠庵／守山・少林寺
- ・特別鑑賞会・レセプション＝平成 27 年 10 月 23 日〔金〕……………出席者 153 名
- ・講演会＝平成 27 年 10 月 31 日〔土〕 芳澤勝弘氏（元花園大学教授）…聴講者 189 名
- ・講演会＝平成 27 年 11 月 7 日〔土〕 ディディエ・ダヴァン氏（フランス国立極東学院
東京支部代表）
……………聴講者 174 名
- ・講演会＝平成 27 年 11 月 21 日〔土〕 岡 雅彦氏（国文学研究資料館名誉教授）聴講者 217 名
- ・座禅体験（法話付）＝平成 27 年 10 月 25 日〔日〕、11 月 1 日〔日〕…参加者計 62 名
※詳細は「3 - 1. 普及事業（3）」（7 頁）参照

2. 調査・研究事業

2 - 1. 調査・研究

- ・特別展および企画展に際して、館外所蔵作品の調査を行った。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

2 - 2. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「一山一寧墨跡 園林消暑偈」については、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、住友財団より 1,000,000 円の助成を受け本体の修理を行った。平成 27 年度は、本修理に 2,229,584 円費やされた。
- (2) 作品に付属する貴重な 17～19 世紀の更紗包裂（風呂敷）など計 3 件を修理した。
- (3) 収蔵庫の棚扉について、作品収納の便宜のため一部を改修した。

2 - 3. 出版物

- (1) 『瓷華明彩—イセコレクションの名陶—』
 - ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 27 年 6 月 26 日
 - ・著者＝イセ文化財団 ・特別協力＝五島美術館
 - ・発行＝株式会社新潮社 ・頁数＝136 頁（オールカラー、図版 92 点所収）

(2) 『一休—とんち小僧の正体—』

- ・判型=A4判　・発行日=平成27年10月23日
- ・編集=五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行=公益財団法人五島美術館　・頁数=232頁(カラー88頁、図版147点所収)

(3) 『五島美術館研究紀要』第4号

- ・判型=A4判　・発行日=平成28年3月31日
- ・編集=五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行=公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

NHK、NHKプロモーション他……………「古伊賀耳付花生」／他計3件
「没後400年 古田織部展」

広島展(奥田元宋・小由女美術館、期間=平成27年3月2日~4月12日)、
滋賀展(佐川美術館、期間=10月10日~11月23日)

奈良国立博物館……………重要文化財「法華経序品・法師功德品(久能寺経)」／計1件
「特別展 まぼろしの久能寺経に出会う 平安古経展」
(期間=平成27年4月7日~5月17日)

根津美術館……………「紅葉流水図(竜田川図) 尾形光琳筆」／他計2件
「尾形光琳300年忌記念特別展 燕子花と紅白梅 光琳デザインの秘密」
(期間=平成27年4月18日~5月17日)

石川県立美術館……………重要文化財「宗峰妙超墨跡 梅溪号」／計1件
「加賀前田家 百万石の名宝—尊経閣文庫の名品を中心に—」
(期間=平成27年4月24日~6月7日)

井原市立田中美術館……………「那須与一宗隆 前田青邨筆」／計1件
「春季特別展 平家物語を描く—近代によみがえった古典—」
(期間=平成27年4月27日~5月31日)

サントリー美術館……………「乾山色絵菊文向付」／他計2件
「着想のマエストロ 乾山見参！」(期間=平成27年5月27日~7月20日)

毎日新聞社、一般財団法人毎日書道会……………「九錫玄香」／他計22件
「書の用具・用材を知る「筆・墨・紙・硯の世界」—毎日展作家が引出すその魅力—」
(期間=平成27年7月8日~8月2日)

愛知県美術館、朝日新聞社……………重要美術品「木の葉文平茶碗(木の葉天目)」／計1件
「芸術植物園」(期間=平成27年8月7日~10月4日)

岡山県教育委員会、岡山県立美術館……………「古伊賀耳付花生」／計1件
「特別展 破格—桃山備前—」(期間=平成27年9月18日~11月8日)

彦根城博物館……………「唐物円座肩衝茶入 銘 利休円座」／計1件
「一期一会の世界 大名茶人 井伊直弼のすべて」
(期間=平成27年9月18日~10月20日)

川越市立博物館 …………… 「小堀遠州 月迫茶入添文」／計 1 件
「川越市立博物館開館 25 周年記念特別展 小堀遠州と川越藩主—遠州と酒井忠勝の
交流を中心に—」(期間=平成 27 年 10 月 10 日～11 月 15 日)

京都国立博物館他… 「鹿下絵和歌巻断簡 本阿弥光悦筆 伝 俵屋宗達下絵」／他計 3 件
「琳派誕生 400 年記念 特別展覧会 琳派 京(みやこ)を彩る」
(期間=平成 27 年 10 月 10 日～11 月 23 日)

川崎市市民ミュージアム ……重要美術品「複線波紋縁連弧紋鏡 居摂元年銘」／他計 6 件
「古鏡—その神秘の力—」(期間=平成 27 年 10 月 10 日～11 月 23 日)

九州国立博物館他 ……重要文化財「高野切古今和歌集(第一種) 伝 紀貫之筆」／計 1 件
「特別展 美の国 日本」(期間=平成 27 年 10 月 18 日～11 月 29 日)

福井県立歴史博物館 ……重要美術品「唐物文琳茶入 銘 本能寺」／計 1 件
「特別展 再会・ふくいゆかりの名宝たち—里帰り文化財展—」
(期間=平成 27 年 10 月 24 日～11 月 23 日)

徳川美術館、名古屋市蓬左文庫他 ……国宝「源氏物語絵巻 鈴虫一」／他計 8 件
「特別公開 国宝 源氏物語絵巻」(期間=平成 27 年 11 月 14 日～12 月 6 日)

東京国立近代美術館他 ……「菊慈童 安田靫彦筆」／計 1 件
「安田靫彦」(期間=平成 28 年 3 月 23 日～5 月 15 日)

計 17 ヶ所 56 件

2 - 5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に
検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成 28 年
度は 184 件・のべ 304 点)。

3. 普及事業

3 - 1. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)—入館者を対象にして実施

・[館蔵] 春の優品展—和歌と絵画—

「和歌の書」 平成 27 年 4 月 9 日、4 月 23 日(別館講堂) ……参加者計 113 名

「表具の裂地」 平成 27 年 4 月 26 日(別館講堂) …… 67 名

「源氏物語絵巻について」 平成 27 年 4 月 30 日、5 月 3 日・8 日(別館講堂) 計 529 名

・[館蔵] 近代の日本画展

「近代日本画の世界」 平成 27 年 5 月 21 日、6 月 18 日(別館講堂) …… 計 180 名

・[特別展] 瓷華明彩—イセコレクションの名陶—

「イセコレクションの中国陶磁について」平成 27 年 7 月 16 日、7 月 30 日(別館講堂)
…………… 計 141 名

- ・[館蔵] 秋の優品展—宗教と美術—
 - 「写経の紙」 平成 27 年 9 月 10 日、10 月 1 日（本館集会室）……………計 50 名
 - 「日本陶磁について」 平成 27 年 9 月 18 日（別館講堂）…………… 29 名
 - 「宗教と美術」 平成 27 年 9 月 29 日（別館講堂）…………… 51 名
 - 「表具の裂地」 平成 27 年 10 月 7 日（別館講堂）…………… 67 名
 - 「紫式部日記絵巻について」 平成 27 年 10 月 15 日、18 日（別館講堂）…計 305 名
 - ・[開館 55 周年記念特別展] 一休—とんち小僧の正体—
 - 「一休さんの字」 平成 27 年 10 月 29 日、11 月 26 日（別館講堂）……………計 251 名
 - 「一休を楽しむ」 平成 27 年 11 月 4 日（別館講堂）……………103 名
 - ・[館蔵] 茶道具取合せ展
 - 「茶道具取合せ展について」平成 27 年 12 月 18 日、平成 28 年 2 月 12 日（別館講堂）……………計 184 名
 - 「茶の湯の裂」 平成 27 年 12 月 22 日、平成 28 年 1 月 27 日（別館講堂）計 152 名
 - 「古経楼と茶の湯」 平成 28 年 1 月 13 日、2 月 3 日（別館講堂）……………計 83 名
 - ・[館蔵] 中国の陶芸展
 - 「中国陶磁について」 平成 28 年 3 月 3 日、3 月 24 日（別館講堂）……………計 123 名
- 計 7 回の展示で 28 回実施 [のべ] 2,428 名参加

(2) 青少年向け普及講座

- ①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施
- 「王朝絵巻の世界」 平成 27 年 5 月 5 日（本館集会室）・計 8 名 [こども 4/大人 4]
 - 「和歌とかな」 平成 27 年 5 月 10 日（本館集会室）・計 20 名 [こども 7/大人 13]
 - 「日本画を知ろう」 平成 27 年 6 月 7 日（本館集会室）計 15 名 [こども 7/大人 8]
 - 「お経の紙いろいろ」 平成 27 年 9 月 20 日（本館集会室）計 4 名 [こども 1/大人 3]
 - 「王朝絵巻の世界」 平成 27 年 10 月 12 日（本館集会室）……………計 1 名 [こども 1]
- 計 5 回実施 [のべ] こども 20 名 大人 28 名参加

②東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」

平成 28 年 1 月 11 日 「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」（別館講堂・茶室）計 14 名

③小学校への出張講義

- ・世田谷区立船橋小学校

平成 28 年 2 月 24 日 「日本絵画について」 ……………6 年生約 130 名

④中高生向け講義

- ・東京学芸大附属高等学校

平成 28 年 2 月 2 日 「美術館学芸員について」（本館集会室）…………… 20 名

(3) 講演会—入館者を対象にして実施

[特別展] 瓷華明彩—イセコレクションの名陶—

- ・演題＝「色絵磁器からみたイセコレクション」

講師＝森達也氏（沖縄県立芸術大学教授）

平成 27 年 7 月 12 日〔日〕……………聴講者 101 名

- ・演題＝特別対談「イセコレクションあれこれ」

講師＝瀬尾康夫氏（美術瀬尾）×川島公之氏（繭山龍泉堂）

平成 27 年 7 月 26 日〔日〕……………聴講者 122 名

[開館 55 周年記念特別展] 一休—とんち小僧の正体—

- ・演題＝「一休とは何か」 講師＝芳澤勝弘氏（元花園大学教授）

平成 27 年 10 月 31 日〔土〕……………聴講者 189 名

- ・演題＝「一休を読む—『狂雲集』のことばとところ」

講師＝ディディエ・ダヴァン氏（フランス国立極東学院東京支部代表）

平成 27 年 11 月 7 日〔土〕……………聴講者 174 名

- ・演題＝「とんち小僧一休の正体」 講師＝岡 雅彦氏（国文学研究資料館名誉教授）

平成 27 年 11 月 21 日〔土〕……………聴講者 217 名

(4) 座禅体験（法話付） 予約制

[開館 55 周年記念特別展] 一休—とんち小僧の正体—

- ・大徳寺真珠庵 住職 山田宗正師

平成 27 年 10 月 25 日〔日〕……………参加者 32 名

- ・酬恩庵（一休寺） 住職 田邊宗一師

平成 27 年 11 月 1 日〔日〕……………参加者 30 名

(5) 団体見学および団体説明会

[館蔵] 春の優品展—和歌と絵画—……………計 14 団体・計 432 名

[館蔵] 近代の日本画展……………計 4 団体・計 116 名

[特別展] 瓷華明彩—イセコレクションの名陶—……………計 5 団体・計 140 名

[館蔵] 秋の優品展—宗教と美術—……………計 3 団体・計 76 名

[開館 55 周年記念特別展] 一休—とんち小僧の正体—……………計 2 団体・計 95 名

[館蔵] 茶道具取合せ展……………計 1 団体・計 28 名

[館蔵] 中国の陶芸展……………計 1 団体・計 26 名

総計＝30 団体・913 名

(6) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

- ・第 1 回秋季茶会＝平成 27 年 11 月 12 日、13 日、14 日、15 日（4 日間）参加者計 804 名

- ・第 2 回春季茶会＝平成 28 年 3 月 10 日、11 日、12 日、13 日（4 日間）参加者計 860 名

* 上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

(7) 陶芸教室—美の友・茶の友会会員を対象にして実施

*指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了（一日教室）。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成（完成品は集会室にて手渡し）。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

- ・第1回＝平成27年5月30日・5月31日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」参加者計43名
- ・第2回＝平成27年9月26日・27日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……計44名
- ・第3回＝平成28年1月30日・31日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……計48名

(8) 美の友会月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座（各月1～3回）を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

・書跡鑑賞シリーズX「11世紀から12世紀の古筆」

担当＝五島美術館学芸部 名見耶 明

第1回	平成27年4月4日〔土〕	「小島切」……………	聴講者102名
第2回	5月2日〔土〕	「荒木切」……………	100名
第3回	6月6日〔土〕	「御蔵切」……………	107名
第4回	8月1日〔土〕	「藍紙本万葉集」……………	82名
第5回	9月5日〔土〕	「和泉式部集切」……………	91名
第6回	10月3日〔土〕	「針切」……………	80名
第7回	12月5日〔土〕	「朝忠集」……………	79名
第8回	平成28年1月9日〔土〕	「元暦校本万葉集」……………	81名
第9回	2月6日〔土〕	「陽成院一品宮歌合」……………	86名
第10回	3月5日〔土〕	「近江御息所歌合」……………	79名

・染織鑑賞シリーズXI「名物裂を楽しむ—『雅游漫録』の世界」

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第1回	平成27年4月18日〔土〕	「『雅游漫録』と名物裂」……………	聴講者65名
第2回	5月16日〔土〕	「金襴—鶏頭・大燈・長楽寺・逢坂」…	61名
第3回	6月20日〔土〕	「金襴—花兔・富田・橘屋・興福寺」…	64名
第4回	7月18日〔土〕	「金襴—大徳寺・釣り石畳・鴛鴦」……	55名
第5回	9月19日〔土〕	「金襴—針屋・滑銭・大内菱・大内桐」	61名
第6回	10月17日〔土〕	「金襴—高台寺・角龍・建仁寺」……………	50名
第7回	12月19日〔土〕	「金襴—紹知・なでしこ・義隆」……………	48名
第8回	平成28年1月23日〔土〕	「金襴—安楽庵・いなご・古金襴」……	47名
第9回	2月20日〔土〕	「印金・金紗」……………	53名
第10回	3月26日〔土〕	「緞子—本能寺・白極」……………	59名

- ・陶磁鑑賞シリーズⅣ「高麗茶碗」 担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子
 - 第7回 平成27年4月11日〔土〕 「熊川・玉子手」……………聴講者 90名
 - 第8回 5月9日〔土〕 「呉器・割高台・金海」……………85名
 - 第9回 6月13日〔土〕 「御所丸・彫三島」……………90名
 - 第10回 7月11日〔土〕 「御本・半使」……………96名

- ・工芸鑑賞シリーズⅠ「工芸史拾い歩き一茶の湯編」 担当＝五島美術館学芸部 福島 修
 - 第1回 平成27年9月12日〔土〕 「工芸と茶道具」……………聴講者 80名
 - 第2回 10月10日〔土〕 「和／漢の構造」……………68名
 - 第3回 12月12日〔土〕 「棗の話」……………67名
 - 第4回 平成28年1月16日〔土〕 「茶杓の問題」……………66名
 - 第5回 2月13日〔土〕 「釜の鑑賞」……………97名
 - 第6回 3月19日〔土〕 「天目台と盆」……………96名

(9) ミュージアム・コンサートー入館者を対象にして実施

- ・NHK 交響楽団メンバーによる弦楽四重奏演奏会＝平成27年7月7日〔火〕
 - 1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔（敬称略）
 - プログラム： モーツァルト 弦楽四重奏曲第7番変ホ長調 K.160(159a)
 - ハイドン 弦楽四重奏曲第77番ハ長調 Op.76-3, 「皇帝」 Hob.III-77
 - ラヴェル 弦楽四重奏曲ヘ長調
 - 入場料＝3500円（友の会 3000円） 予約制……………参加者 184名

- ・長唄演奏会一和のころを聴く＝平成27年9月16日〔水〕
 - 三味線＝杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉／唄＝杵屋六響、杵屋喜寛、芳村伊四妙、芳村伊四紗栄／囃子＝望月秀幸、望月左太寿郎、橘内幹、仙波貴之／笛＝福原寛（敬称略）
 - プログラム： 五條橋 一人唄久 二人唄久
 - 入場料＝3500円（友の会 3000円） 予約制……………参加者 145名

(10) 特別閲覧

- ・広島大学（1名：平成27年5月24日）
 - ……………重要美術品 大般若波羅蜜經 卷第三百十六（小水磨願經）1巻 計1件
- ・東京藝術大学（3名：平成27年5月27日）……………亀甲蒔絵棗他 計3件
- ・広島大学（1名：平成27年7月5日）……………光讚般若經 卷第四 足利尊氏願經他 計2件
- ・青山学院大学（1名：平成27年7月9日） 梶尾切(桂本万葉集) 伝 源順筆 源兼行 計1件
- ・川崎市市民ミュージアム（1名：平成27年7月24日）
 - ……………重要美術品 複線波紋縁連弧鏡 居撰元年銘他 計6件
- ・京都造形芸術大学（1名：平成27年9月13日）……………二月堂練行衆盤 計1件
- ・常盤山文庫・町田市立博物館・東京国立博物館（6名：平成27年10月6日）
 - ……………白磁弁口水注他 計3件

- ・九州大学（1名：平成27年11月7日、8日）……………重要美術品 細線式獸帯鏡他 計13件
 - ・名古屋大学・東京文化財研究所・明治大学（3名：平成27年11月25日・26日）
……………重要文化財 紺紙金銀交書法華經他 計5件
 - ・大谷大学（1名：平成27年11月27日）……………隅寺心經 大和岡寺心經 計1件
 - ・京都国立博物館（1名：平成27年12月23日）……唐物肩衝茶入 銘 安国寺他 計4件
 - ・根津美術館（1名：平成28年1月24日）……………唐物肩衝茶入 銘 利休円座 計1件
 - ・宮内庁書陵部（1名：平成28年4月24日）……………重要美術品 五鈴乳文鏡他 計9件
- ※本件は平成27年度中の案件であったが、事情により閲覧日が28年度に繰り下げとなった。

3 - 2. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った（団体研修3大学のべ234名、実習生4大学4名）。

- ・期日＝平成27年5月16日・10月10日
実習生＝立教大学博物館実習生（団体研修）……………計52名
- ・期日＝平成27年6月13日、20日・11月28日・12月19日・平成28年1月16日
実習生＝東京学芸大学博物館実習生（団体研修）……………計148名
- ・期日＝平成27年9月9日・9月11日
実習生＝慶應義塾大学博物館実習生（団体研修）……………計34名
- ・期間＝平成27年11月4日（水）～17日（火） 計12日間
実習生＝駒沢大学 仏教学部 仏教学科……………1名
実践女子大学 文学部 美学美術史学科……………1名
学習院女子大学 国際文化交流学部 日本文化学科……………1名
青山学院大学 文学部 比較芸術学科……………1名

3 - 3. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

ギャラリートーク（平成27年9月10日・10月1日）、当館主催「こども美術講座」（平成27年5月5日他）、当館主催「陶芸講座」参加者作品展観（平成27年5月30日・31日、9月26日・27日、平成28年1月30日・31日）、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用（利用詳細は別項「3 - 1. 普及事業（1）（2）（4）（5）（7）」「3 - 2. 博物館実習生の受け入れ」「4 - 2. 学会・研究会（3）」）。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」（平成27年7月12日他）、「座禅体験」（平成27年10月25日他）、ギャラリートーク（平成27年4月9日他）、当館主催「美の友会月例美術講座」（毎月1～3回）、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会（平成27年11月12日～15日、平成28年3月10日～13日）、当館主催ミュージアム・コンサート（平成27年7月7日、9月16日）、東京急行電

鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 28 年 1 月 11 日)、茶の湯文化学会例会(平成 27 年 4 月 25 日)などに使用〈利用詳細は別項「3 - 1. 普及事業 (1) (2) (3) (4) (6) (8) (9)」〉。

(3) 第二講堂

当館主催「陶芸講座」(平成 27 年 5 月 30 日・31 日、9 月 26 日・27 日、平成 28 年 1 月 30 日・31 日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成 27 年 11 月 12 日～15 日、平成 28 年 3 月 10 日～13 日)、その他一般の茶会の点心席などに使用〈利用詳細は別項「3 - 1. 普及事業 (6) (7)」〉。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成 27 年 11 月 12 日～15 日、平成 28 年 3 月 10 日～13 日)、東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 28 年 1 月 11 日)、その他一般の茶会などに使用〈利用詳細は別項「3 - 1. 普及事業 (2) (6)」〉。

3 - 4. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成 28 年 3 月 31 日現在)。

(1) 美の友会(定員制度無し・入会した日より 1 年間有効)

- ・会員数=512 名
- ・年会費=4,000 円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年 3 回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(2) 茶の友会(定員制度・毎年度 4 月 1 日から 3 月 31 日まで有効)

- ・会員数=1,500 名
- ・会 費=5,000 円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年 2 回・ただし、1 回につき実費 10,000 円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

4. その他

4 - 1. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 全国博物館大会への参加（館長他 1 名、平成 27 年 11 月 18 日、19 日、20 日）。
- (2) 全国美術館会議への参加（館長他 1 名、平成 27 年 5 月 28 日、29 日）。
- (3) 全国博物館長会議への参加（館長、平成 27 年 6 月 10 日）。
- (4) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣（東京国立博物館 3 回、京都国立博物館 1 回、九州国立博物館 1 回）。
- (5) 美術資料買取協議会へ学芸員を派遣（文化庁 1 回、九州国立博物館 2 回）。
- (6) 文化庁の依頼により、登録美術品調査研究協力者会議に協力者として学芸員を登録。
- (7) 円覚寺の依頼により、「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣（平成 27 年 10 月 31 日、11 月 3 日）。
- (8) 東京学芸大学の依頼により、副館長を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (9) 東京藝術大学の依頼により、副館長を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (10) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (11) 一般財団法人東京私立中学高等学校協会の依頼により、副館長を講演会講師として派遣（平成 27 年 11 月 6 日）。
- (12) 松本市美術館の依頼により、副館長を講演会講師として派遣（平成 28 年 3 月 3 日）。
- (13) 文部科学省の依頼により、中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）として会議に副館長を派遣（平成 27 年 11 月 23 日、平成 28 年 1 月 22 日、2 月 23 日）。
- (14) 公益財団法人大師会の依頼により大師会茶会を担当、茶道具の貸出と学芸員を派遣（平成 27 年 4 月 5 日、6 日）。
- (15) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を科学研究費助成事業（No.24401020）における調査・会議へ派遣・協力（平成 27 年 11 月 22、23 日）。

- (16) 大阪歴史博物館の依頼により、学芸員を染織資料検討会に派遣（平成 28 年 2 月 24 日、25 日）。
- (17) 愛知県美術館の依頼により、学芸員を漆作品調査に派遣（平成 27 年 8 月 28 日）。
- (18) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事会に出席（平成 27 年 5 月 20 日、平成 28 年 3 月 23 日）。
- (19) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員会に出席（平成 27 年 6 月 12 日）。
- (20) 公益財団法人大師会の報告会（平成 27 年 4 月 4 日）および評議員会（平成 27 年 6 月 18 日）に出席。
- (21) 一般社団法人書芸文化院の理事会（平成 27 年 5 月 17 日）、および総会（平成 27 年 5 月 17 日）に出席。
- (22) 公益財団法人徳川ミュージアムの依頼により、文化財修復助成事業選定委員会（平成 27 年 4 月 30 日）、「開校・彰考館」プロジェクト調査活用事業の資料調査（平成 27 年 8 月 19 日、20 日）に出席。
- (23) 一般財団法人イセ文化財団の理事会に出席。
- (24) 一般財団法人イセ文化財団他主催「第 17 回ハッピーイースター卵あそびコンテスト」審査委員として学芸員を派遣。
- (25) 日本博物館協会の依頼により、「美術品取梱包輸送技能取得士認定制度に関する委員会」（平成 27 年 4 月 24 日、10 月 21 日、平成 28 年 2 月 9 日、13 日、20 日、3 月 4 日）、「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」（平成 28 年 1 月 21 日、22 日、2 月 12 日）、『博物館研究』編集委員会（平成 28 年 2 月 12 日）に参加。
- (26) 公益財団法人せたがや文化財団理事会への参加（2 回）。
- (27) 第 62 回日本伝統工芸展（全国 12 都市にて開催：会期 平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月）奨励賞に協賛。
- (28) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4 - 2. 学会・研究会

- (1) 浙江省博物館（中国）主催国際シンポジウム「中國漆器文化研究的回顧與展望國際學術研討會」にて研究成果を発表（平成 27 年 10 月 22 日）。

- (2) 茶の湯文化学会を別館講堂にて開催し、研究成果を発表（平成 28 年 1 月 30 日）。
- (3) 東洋陶磁学会研究会を集会室にて開催（平成 28 年 2 月 6 日）。
- (4) 東洋陶磁学会、書学書道史学会、全国博物館学会、全国美術館会議、全国博物館長会議、私立美術館会議（以上大会出席）
- (5) 日本貿易陶磁研究会研究集会、茶書研究会、日本書道史研究会、墨蹟研究会、画賛研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。

2. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

3. 図書調査

国文学研究資料館の依頼により、京都瑞光寺の資料調査を行なった。
共同研究「日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化」のメンバーとして奈良大学・京都仏光寺所蔵の版本調査、京都妙法院の資料調査を行なった。

4. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		23	23	21	27	8	22	23	25	16	24	20	24	256日
閲覧者数		3	5	4	5	10	7	3	8	5	4	1	9	64人
閲覧図書	国書	8	14	33	40	10	22	6	21	9	15	1	26	205点
	漢籍	1	0	0	0	8	5	0	1	4	1	0	2	22点
	仏書	1	8	0	9	6	1	0	6	0	0	0	0	31点
	その他	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	5点
計		10	22	33	49	26	28	6	28	13	16	1	31	263点

(2) 団体閲覧

- ・4月 延慶本平家物語研究会（1点／於閲覧室）……………5名
- ・11月 慶應義塾大学・上智大学・早稲田大学学部生及び院生（47点／於集会室）12名

5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版（主なもの）

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第46号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇（汲古書院）継続刊行中。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇（全18巻別巻1巻）（汲古書院）
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集（勉誠出版）
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」（丸善雄松堂）

6. 普及

(1) 出版物受贈（主なもの）

- ・『東京市史稿 産業篇 第五十六』 1冊（東京都公文書館）
- ・『皇室制度史料 儀制 立太子一』 1冊（宮内庁書陵部）
- ・『岩崎文庫貴重書解題Ⅷ 東洋文庫絵本コレクション』 1冊（東洋文庫）

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
北九州市立文学館、静岡市、南魚沼市教育委員会、山口市等
- ・出版社
NHKエデュケーショナル、国華社、小学館、中央公論美術出版、テレビ朝日放送、勉誠出版、武蔵野書院、八木書店、臨川書店等
- ・個人
研究者等7名

7. 展示

(1) 他所への貸出

- ・京都国立博物館……………「加藤清忠夫人像」／計1点
「桃山時代の狩野派—永徳の後継者たち—」展（期間＝平成27年4月7日～5月17日）

- ・東京国立博物館……………重要文化財「光明真言土沙勸信記」・「曼荼羅集」／計2点
「鳥獣戯画—京都高山寺の至宝—」展（期間＝平成27年4月28日～6月7日）

（2）五島美術館への出陳

- ・〔館蔵〕春の優品展—和歌と絵画—
……………重要文化財「顕季集」・重要文化財「公忠朝臣集」・「源氏物語奥入」ほか／計12点
- ・〔館蔵〕秋の優品展—宗教と美術—
……………国宝「六祖挾担図」・重要文化財「紫紙金字華嚴經 卷第六十一」ほか／計11点
- ・〔開館55周年記念特別展〕一休—とんち小僧の正体—
……………「虚堂和尚語録」・「一休水鏡」・「一休咄草庵茶漬飯」ほか／計12点
- ・〔館蔵〕茶道具取合せ展
……………「豊臣秀吉消息 お祢宛」・「武野宗瓦消息」・「茶室起絵図」／計3点

8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として会議に出席、国文学関係資料の調査に協力した。
- ・国文学研究資料館における「歴史的典籍に関する大型プロジェクト」の共同研究「日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化」の研究分担者として研究会や調査に参加した。

貸借対照表
平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	107,582,510	151,178,926	△ 43,596,416
未収金	3,229,184	2,418,883	810,301
前払金	1,865,444	2,351,886	△ 486,442
棚卸資産	27,468,361	21,071,831	6,396,530
有価証券	7,764,596	7,764,596	0
立替金	62,464	0	62,464
仮払金	110,952	1,000	109,952
流動資産合計	148,083,511	184,787,122	△ 36,703,611
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物	1,462,700,481	1,527,172,891	△ 64,472,410
立木	1,000,000	1,000,000	0
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000	0
古典籍	133,245,570	133,245,570	0
什器備品	3,920,002	4,508,002	△ 588,000
投資有価証券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,603,541,678	4,668,602,088	△ 65,060,410
(2) 特定資産			
積立預金	57,000,000	57,000,000	0
特定資産合計	57,000,000	57,000,000	0
(3) その他固定資産			
美術品	194,549,325	194,549,325	0
什器備品	7,729,818	8,847,068	△ 1,117,250
その他固定資産合計	202,279,143	203,396,393	△ 1,117,250
固定資産合計	4,862,820,821	4,928,998,481	△ 66,177,660
資産合計	5,010,904,332	5,113,785,603	△ 102,881,271
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,101,036	13,030,867	△ 5,929,831
前受金	6,855,000	6,775,000	80,000
預り金	1,965,572	1,745,581	219,991
流動負債合計	15,921,608	21,551,448	△ 5,629,840
2. 固定負債			
退職給付引当金	14,686,163	13,775,047	911,116
固定負債合計	14,686,163	13,775,047	911,116
負債合計	30,607,771	35,326,495	△ 4,718,724
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,928,262,619	3,992,735,029	△ 64,472,410
(うち基本財産への充当額)	(3,871,262,619)	(3,935,735,029)	(△ 64,472,410)
(うち特定資産への充当額)	(57,000,000)	(57,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(732,279,059)	(732,867,059)	(△ 588,000)
正味財産合計	4,980,296,561	5,078,459,108	△ 98,162,547
負債及び正味財産合計	5,010,904,332	5,113,785,603	△ 102,881,271

財産目録

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管		運転資金として	2,152,268	
		普通預金			43,580,293	
		みずほ上野毛①			34,892,714	
		みずほ上野毛②			2,205,965	
		みずほ上野毛③			5,217,757	
		三菱東京UFJ玉川①			1,263,857	
		定期預金			61,849,949	
		三菱東京UFJ②定期			61,849,949	
		以上、運転資金として			61,849,949	
		売掛金			3,229,184	
未収金 前払金 棚卸資産 有価証券 立替金 仮払金			次年度展覧会準備費用	1,865,444		
			図録・ショップ商品	27,468,361		
			基本財産運用に伴う不足資金分	7,764,596		
				62,464		
				110,952		
	流動資産合計				148,083,511	
	(固定資産) 基本財産	土地 土地(指定) 建物 建物(指定) 立木 立木(指定) 美術品 美術品(指定) 古典籍 古典籍(指定) 什器備品 什器備品(一般) 投資有価証券 投資有価証券(一般) 積立預金 積立預金(指定) 美術品 什器備品	世田谷区上野毛3-9-25			4,603,541,678
						1,139,685,568
			19903.86平米		公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	1,139,685,568
						1,462,700,481
本館・別館・茶室2棟・陶芸 教室				公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	1,462,700,481	
					1,000,000	
				公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,000,000	
					1,134,631,000	
美術工芸品 2,617件				公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,134,631,000	
					133,245,570	
古典籍 21,837冊				公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	133,245,570	
					3,920,002	
展示用備品・収蔵棚				公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	3,920,002	
					728,359,057	
国債・地方債・社債・株式				公益目的保有財産であり運用益を公 益目的事業の財源としている。	728,359,057	
					0	
					57,000,000	
					57,000,000	
三菱東京UFJ・みずほ銀行				公的 目的事業及び管理運営のための 資産である。	57,000,000	
					202,279,143	
				公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	194,549,325	
				公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	7,729,818	
固定資産合計				4,862,820,821		
資産合計				5,010,904,332		
(流動負債)	未払金 前受金 預り金		業者への支払	0		
			次年度茶の友会会費	7,101,036		
			社会保険料	6,855,000		
				1,965,572		
流動負債合計				15,921,608		
(固定負債)	退職給付引当金			0		
			公的 目的事業及び管理運営に従事す る職員の退職給付引当金	14,686,163		
固定負債合計				14,686,163		
負債合計				30,607,771		
正味財産				4,980,296,561		

予算対比正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,299,000]	[11,530,735]	[△ 231,735]
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
公益事業収益	[159,011,000]	[145,343,218]	[13,667,782]
受取補助金等	[0]	[1,000,000]	[△ 1,000,000]
受取寄付金	[147,290,000]	[146,740,410]	[549,590]
雑収	[25,000]	[166,831]	[△ 141,831]
経常収益計	317,635,000	304,781,194	12,853,806
(2) 経常費用			
事業費	[331,387,000]	[310,003,300]	[21,383,700]
管理費	[26,488,000]	[26,200,031]	[287,969]
経常費用計	357,875,000	336,203,331	21,671,669
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 40,240,000	△ 31,422,137	△ 8,817,863
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 40,240,000	△ 31,422,137	△ 8,817,863
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指定正味財産へ振替	[0]	[2,268,000]	[△ 2,268,000]
経常外費用計	0	2,268,000	△ 2,268,000
当期経常外増減額	0	△ 2,268,000	2,268,000
当期一般正味財産増減額	△ 40,240,000	△ 33,690,137	△ 6,549,863
一般正味財産期首残高	1,085,724,079	1,085,724,079	0
一般正味財産期末残高	1,045,484,079	1,052,033,942	△ 6,549,863
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額	[0]	[2,268,000]	[△ 2,268,000]
一般正味財産への振替額	[△ 67,290,000]	[△ 66,740,410]	[△ 549,590]
当期指定正味財産増減額	△ 67,290,000	△ 64,472,410	△ 2,817,590
指定正味財産期首残高	3,992,735,029	3,992,735,029	0
指定正味財産期末残高	3,925,445,029	3,928,262,619	△ 2,817,590
III 正味財産期末残高	4,970,929,108	4,980,296,561	△ 9,367,453

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券等の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。
- (4) 引当金の計上基準
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,527,172,891	2,268,000	66,740,410	1,462,700,481
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,631,000			1,134,631,000
古典籍	133,245,570			133,245,570
什器備品	4,508,002	0	588,000	3,920,002
投資有価証券	728,359,057			728,359,057
小計	4,668,602,088	2,268,000	67,328,410	4,603,541,678
(特定資産)				
積立預金	57,000,000			57,000,000
小計	57,000,000	0	0	57,000,000
合計	4,725,602,088	2,268,000	67,328,410	4,660,541,678

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,462,700,481	1,462,700,481		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000		
古典籍	133,245,570	133,245,570		
什器備品	3,920,002		3,920,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,603,541,678	3,871,262,619	732,279,059	0
(特定資産)				
積立預金	57,000,000	57,000,000		
小計	57,000,000	57,000,000	0	0
合計	4,660,541,678	3,928,262,619	732,279,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,404,600,678	941,900,197	1,462,700,481
什器備品(基本財産)	42,126,653	38,206,651	3,920,002
什器備品(その他固定資産)	72,609,194	64,879,376	7,729,818
合計	2,519,336,525	1,044,986,224	1,474,350,301

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	7,764,596	8,213,058	448,462
投資有価証券	728,359,057	1,008,774,212	280,415,155
合計	736,123,653	1,016,987,270	280,863,617

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	13,775,047	911,116	0	0	14,686,163

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	66,740,410
合計	66,740,410

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。